

## 演習 7

(知能分野)

[No. 1] 次のようなアパートに a ~ h の 8 人が住んでいる。この様子は次の通りである。

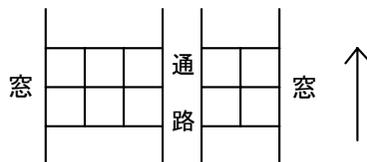


- \* b の両となりは e と g である。
- \* d の両となりは a と h である。
- \* c のすぐななめ向かいに d がおり、f の向かいは g である。

以上より確実にいえるものはどれか。

- 1 b の向かいは h である。
- 2 a のすぐななめ向かいは e である。
- 3 a の向かいは c である。
- 4 f のすぐななめ向かいは e である。
- 5 g のすぐななめ向かいは a である。

[No. 2] 次のような新幹線の座席で、矢印方向に座席が固定されているものとする。この 10 席に男性 4 人が次のような条件のもとに座ることにした。まず、窓側に座る男性は 1 人とし、男性はとなり合うことがないようにする。また、男性の前に男性が座らないようにし、女性は男性の前に座ることができても、女性の前には男性が座ることはできないものとする。条件を満たす場合には女性は必ず座るものとする、次より確実にいえるものはどれか。



- 1 女性が最も多く座れるとき、2人掛けの側の席に男性が2人座っている。
- 2 通路側に座る女性は2人ということはありえない。
- 3 3人掛けの窓側後ろの席に男性が座れば、空席は必ず2つできる。
- 4 女性同志がとなり合って座ることはない。
- 5 女性が最も少ない場合の女性の人数は3人である。

〔No. 3〕 AC間を往復することになった。行きは、AからBを通ってCに達するのにBまでを時速4kmで歩き、BからCまでは時速20kmの船を利用した。帰りは自転車を使用し、時速15kmで別の道を通った。帰りの道のりは行きより4km長く、所要時間は行きより10分余計にかかったが、これは船に乗っていた時間より25分多い。AC間の往路は何kmか。ただし、船の乗換時間は考えない。

- 1 5 km
- 2 6 km
- 3 7 km
- 4 8 km
- 5 9 km

〔No. 4〕 1から1000までの整数のうち同じ数字がとなり合っていないものは全部でいくつあるか。

- 1 873
- 2 855
- 3 837
- 4 819
- 5 801

[No. 5] 下表はわが国における住宅建設量の推移を年間の新規着工戸数と床面積とで示したものである。この表からいえることとして、正しいのはどれか。

区分		平成								
		8	9	10 年	11年	12 年	13 年	14 年	15 年	16 年
戸 数	総戸数（千戸）	1,905	1,316	1,356	1,524	1,508	1,549	1,493	1,269	1,152
	うち 木造（千戸）	1,120	861	907	993	946	958	910	751	654
	対前年増減率（%）	5.4	30.9	▲3.0	12.4	▲1.0	2.7	▲3.6	▲15.0	▲9.2
床 面 積	総面積（百万㎡）	147	107	112	125	127	136	137	119	108
	うち 木造（百万㎡）	90	74	78	85	84	90	89	75	66
	1戸当たり平均床面積（㎡）	77	81	83	82	84	88	91	94	94

- 平成 16 年における 1 戸当たり平均床面積は、8 年のその約 1.5 倍になっている。
- 平成 10 年と 16 年における総戸数に占める木造の割合はほぼ等しい。
- 平成 9 年と 16 年を比べてみると、9 年は総個数の対前年減少率より、木造のそのほうが大きかったが、15 年は逆に木造の減少率のほうが小さかった。
- 平成 14 年における木造の 1 戸当たり平均床面積は、13 年におけるそれよりも小さい。
- 平成 9 年と 15 年は、それぞれ前年に比べて総戸数が大きく落ち込んだが、総面積の落ち込みの程度は両年とも総戸数のそれよりも小さかった。

(知識分野)

[No. 6] 議会制民主主義は、意思決定の手段として多数決の原理を採用しているが、次のA～Eの中で、この原理の正しい作用を阻害すると考えられるもののみをすべて挙げているのはどれか。

- A 構成員は、それぞれ等質の個人として尊重されていること。
- B 多数派と少数派との間に激しいイデオロギーの対立があること。
- C 各人が、対立した意見が存在するのは当然という考え方に立っていること。
- D 極端な政治的・経済的な不平等が存在すること。
- E 三権分立の原理が厳格に適用されていること。

- 1 A、D
- 2 B、C
- 3 B、D
- 4 C、D
- 5 C、E

[No. 7] 次のA～Dは、日本国憲法に規定されている内閣または国会の機能に関する記述であるが、それぞれの機能の組合せとして正しいものはどれか。

- A 天皇の国事に関するすべての行為に対して助言と承認を与え、責任を負う。
- B 罷免の訴追を受けた裁判官を裁判するため、弾劾裁判所を設ける。
- C 憲法改正を発議し、国民に提案する。
- D 最高裁判所の指名した者の名簿によって、下級裁判所の裁判官を任命する。

内閣                      国会

- 1 A、B、D              C
- 2 A、C                      B、D
- 3 A、D                      B、C
- 4 B、D                      A、C
- 5 B、C                      A、D

[No. 8] 文中の空欄に入る語句の組合せとして正しいものは、次のうちどれか。

基本的人権の内容には多種多様なものがあるが、これらは決して一時期に成立したものではなく、長い年月をかけて拡大・発展してきたものである。特に（ A ）は 18 世紀的基本権とも呼ばれ、市民革命などを通じて獲得されてきた。また（ B ）は、（ C ）基本権とも呼ばれるもので、（ D ）など、国家にその実現を積極的に求める権利のことである。

	A	B	C	D
1	社会権	自由権	19 世紀的	集会・結社・表現の自由
2	社会権	自由権	19 世紀的	教育を受ける権利
3	社会権	自由権	19 世紀的	財産権の不可侵
4	自由権	社会権	20 世紀的	教育を受ける権利
5	自由権	社会権	20 世紀的	財産権の不可侵

[No. 9] 日本銀行について述べた次の文章の中で、誤っているものはどれか。

- 1 日本銀行は、唯一の発券銀行である。日本銀行券の発行については、財務大臣によってその最高発行限度が決定されるが、最高発行額以上の発行も一定の条件下で認められている。
- 2 日本銀行は、政府を相手に国庫金の出納・保管、公債の発行・償還などを行なうところから、政府の銀行とも呼ばれる。
- 3 日本銀行は、市中銀行を相手に手形の再割引や、預金受入れ、手形交換戻の決済資金の受入れなどを行なうところから、銀行の銀行とも呼ばれる。
- 4 日本銀行は、好況が続き景気過熱のときには、買いオペレーションを行ない、逆に不況の際には売りオペレーション政策をとる。
- 5 日本銀行は、好況が続きインフレ傾向のときには、公定歩合や支払準備率を引き上げ、逆に不況でデフレ傾向のときには公定歩合や支払準備率を引き下げる。

[No. 10] 次は財政に関する記述であるが、空欄A～Cに当てはまるものの組合せとして、正しいのはどれか。

「今日の財政には急激な景気変動による経済の混乱を自動的に緩和する（ A ）と呼ばれる機能が組み込まれている。例えば、（ B ）と（ C ）が組み合わさって用いられるとき、不況期には財政が自然に赤字の方向に、好況期には自然に黒字の方向に働くことになる。」

A	B	C
1 マーシャル＝プラン	金融政策	消費税
2 ポリシー＝ミックス	金融政策	財政政策
3 ポリシー＝ミックス	雇用保険	消費税
4 ビルト＝イン＝スタビライザー	建設国債	財政政策
5 ビルト＝イン＝スタビライザー	雇用保険	累進課税

[No. 11] 仲の悪い人どうしが、同じ場所・境遇に並び立っていることを意味しているのは、次のうちどれか。

- 1 一視同仁
- 2 付和雷同
- 3 同工異曲
- 4 面従腹背
- 5 呉越同舟

[No. 12] 次のA～Eの「セイ」の部分には3種類の漢字のうちいずれかが入るが、同一の漢字が入る組合せとして正しいものはどれか。

- A 法律の制定を国会にセイ願する。
- B 規則を破った者にはセイ裁を加える。
- C この機械は実にセイ巧だ。
- D 三日間働いてセイ根が尽き果てた。
- E 野球部は全国セイ覇をねらっている。

- 1 AとD、CとE
- 2 AとB、CとD
- 3 AとC、BとE
- 4 AとE、BとC
- 5 BとE、CとD

[No. 13] 次の故事・ことわざに類する語の意味を示しているものとして妥当なのはどれか。

- 1 対岸の火事 …… 他人の不幸を見て喜び騒ぎ立てること
- 2 敵は本能寺にあり …… うわべと違い真の目的は別の所にあること
- 3 目から鼻へ抜ける …… 記憶力が劣ること
- 4 背に腹はかえられぬ …… まったくどうしようもないこと
- 5 知らぬが仏 …… 知っていても知らぬような態度をとること

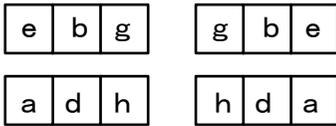


演習 7 解説

(知能分野)

[No. 1] 正答 2

条件を図にすると、次のようになる。



g の向かいには f で、d のすぐ斜め向かいに c があるので、



以上の 2 種類の場合、及びこれを左右対称に置き換えたものが考えられる。

[No. 2] 正答 5

条件より窓側に座る男性は 1 人必ずおり、しかもこれは 1 人であることから、この男性をどこに座るか仮定してその組合せを作ると、以下の 8 種類しかない。

① 3 人掛けの後ろに男性が座った場合



② 3 人掛けの前に男性が座った場合



③ 2 人掛けの後ろに男性が座った場合



④ 2 人掛けの前に男性が座った場合



以上の 8 パターンと選択肢を照合すればよい。

[No. 3] 正答 2

AB 間を  $x$  km、BC 間を  $y$  km とすると、行きの時間は次のように表せる。

$$\frac{x}{4} + \frac{y}{20}$$

また帰りの道のりは 4km 長かったので、時間は次のように表せる。

$$\frac{x+y+4}{15}$$

帰りの時間は行きより 10 分長かったので次の方程式が立つ。

$$\frac{x}{4} + \frac{y}{20} + \frac{10}{60} = \frac{x+y+4}{15} \quad \dots\dots \textcircled{1}$$

また帰りの時間は船に乗っていた時間より 25 分多いのだから、次の方程式が立つ。

$$\frac{x+y+4}{15} = \frac{y}{20} + \frac{25}{60} \quad \dots\dots \textcircled{2}$$

①、②を連立させて解くと、

$$\therefore x=1, y=5, z=10$$

求める距離は、 $x + y$  であるから、

$$x + y = 6 \text{ [km]}$$

[No. 4] 正答 4

1 桁の数字は問題がない。これが 9 通り。

2 桁の数字では、十の位にくる数字が 9 通り、その各々に対して一の位も 9 通りだから、

$$9 \times 9 = 81 \text{ 通り}$$

3 桁の数字では、百の位にくる数字は 9 通り。その各々に対して十の位には百の位以外の数字がくるから 9 通り、一の位も 9 通りとなるから、

$$9 \times 9 \times 9 = 729 \text{ 通り}$$

4 桁の 1000 は不適だから、

$$9 + 81 + 729 = 819 \text{ 個}$$

となる。

〔No. 5〕 正答 5

1.  $94 \div 77 \approx 1.22$  であるから誤り。
2. 10 年が 66.9%、16 年が 56.8% で誤り。
3. 9 年の木造の減少率は  $861 \div 1120 \approx 0.77$  であるから約 23% 減で、総戸数の 30.9% 減のほうが大きい減少率を示しているから誤り。
4. 14 年は  $89 \div 910 \approx 0.098$ 、13 年は  $90 \div 958 \approx 0.094$  であるから誤り。
5. 正しい。

(知識分野)

〔No. 6〕 正答 3

多数決の原理とは、多数者の意見を全体の意志とみなす、民主政治の基本原則の一つである。多数決の原理は、多数意見に少数意見が従うこと、少数意見を尊重するということが前提となっている。したがって、多数意見を自由に批判できるような「言論の自由」や「公開の場における十分な審議・討論」が保障されなければならない。B、D の存在は十分な審議・討論が確保できず、反対意見が無視される状況になる。これらは、多数決の原理を阻害するものと考えられる。

〔No. 7〕 正答 3

各機関の機能は、キーワードで覚えておこう。

- A 「助言と承認」 ⇒ 内閣
- B 「弾劾裁判所の設置」 ⇒ 国会
- C 「憲法改正の発議」 ⇒ 国会
- D 「下級裁判所裁判官の任命」 ⇒ 内閣

※ 「最高裁判所長官の任命」は「天皇」である。

〔No. 8〕 正答

基本的人権の思想は、政治・経済・社会状況の変化や発展に応じて変化している。

17～18 世紀（自由権思想）⇒国家権力からの干渉を排除する

19 世紀（参政権思想）⇒国家権力に参加する

20 世紀（社会権思想）⇒最低生活の保障を国家に要求する

※中でも社会権は重要で、「生存権」「教育を受ける権利」「労働基本権」がその内容となっている。

「集会・結社・表現の自由」は精神的自由権、「財産権の不可侵」は経済的自由権である。

〔No. 9〕 正答 4

選択肢の 1～3 は日本銀行の機能を説明している。いずれも正しい記述である。選択肢の 4、5 は金融政策をせつめいしている。景気が過熱している時の金融政策は、公定歩合を上げ（公定歩合政策）、預金準備率を上げ（預金準備率操作）、売りオペレーション（公開市場操作）を行う。不況のときは公定歩合を下げ、預金準備率を下げ、買いオペレーションを行う。

〔No. 10〕 正答 5

財政のもつ景気の自動調整作用を「ビルト・イン・スタビライザー」という。代表例が所得税の累進課税や雇用保険など社会保障費である。

好況期には税収が伸び、失業などの減少で社会保障費の支出が減ることで有効需要が抑えられる。逆に不況期には税収が抑えられ、失業保険などの社会保障費が増えることで有効需要が増大する。

マーシャルプランは、1947 年の欧州経済復興援助計画のこと。ポリシーミックスは、金融政策と財政政策を中心に複数の政策を組み合わせることで政策目標の達成を図ることをいう。

〔No. 11〕 正答 5

四字熟語の意味を問う典型的な問題である。それぞれの意味を記しておく。

- 1 「一視同仁(いっしどうじん)」だれかれの区別なくみな同じように愛すること。
- 2 「付和雷同(ふわらいどう)」見識がなく軽々しく他人の意見に従うこと。
- 3 「同工異曲(どうこういきょく)」見かけはちがうが実は同じ手ぎわであること。
- 4 「面従腹背(めんじゅうふくはい)」表面は服従するように見せかけて、内心では反抗すること。
- 5 「呉越同舟(ごえつどうしゅう)」利害の対立する者がたまたま同じ場所、同じ立場にいること。以上より、正答は5となる。

〔No. 12〕 正答 5

A 請願 B 制裁 C 精巧 D 精根 E 制覇

〔No. 13〕 正答 2

- 1 対岸の火事 …… 自分とは関係のない事件のこと
- 2 正しい。
- 3 目から鼻へ抜ける …… 賢くて抜け目のないこと
- 4 背に腹はかえられぬ …… 大切なことのためには他の損害には目をつむること
- 5 知らぬが仏 …… 知らないがゆえに、平気でいられること